

柏原中ブロック

母親委員会だより

第73号 平成23年2月 担当 鳥居松小学校

いくら寒さも緩む頃になり、今年度の母親委員の活動も残すところ、あとわずかになりました。学校では、巣立っていく子どもたちが卒業式に向け準備をしています。

母親委員長を仰せつかり、早いものでもう一年。月並みですが「光陰矢のごとし」という表現がピッタリです。その間、各学校のPTA会員の方々や先生方には多大なご支援を頂きました。母親委員一同、心より感謝申し上げます。

「母親委員の活動の意味は何だろう？」就任当初は、人に聞かれても明確に答えることができませんでした。ですが、今ならこう答えます。「全ては、子どもたちの健やかな成長のために・・・」と。セミナーや講演会の企画・運営を通して母親同士や学校の先生方との関係をより良いものにすることが、子どもたちの心の安定をもたらすのではないのでしょうか。

そんな思いをもった母親委員の活動が少しでも、子どもたちの笑顔輝く学校生活を送るお手伝いできたのなら、母親としてこの上もない喜びです。

来年度の活動も、さらに多くのPTA会員の方々に無理なく参加していただけますように努力いたしますので、これまで以上のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



・・・平成22年度の後期の活動を紹介します。・・・



講習会 「エコクラフトテープのバッグ作り」

9月13日(月) 柏原中学校 被服室

講師 河野久美子先生(手芸家、クラフトコーディネーター)

クラフト色、こげ茶色、ネイビー色のエコクラフトテープを使ってかごバッグをつくりました。ブロック公開講座ということもあり、45名もの参加者がありました。

早く完成した人が、まだ完成していない人のお手伝いをするなど、参加者同士がにこやかにふれあうことができ、みなさん大変満足な様子でした。参加者の方の中には、かごバッグだけではなく、工夫してマスコットバッグやスモールサイズの補助バッグを制作した人もいました。

また、制作した作品は、10月下旬に行われた柏原中学校文化祭で、保護者作品として出品されました。



講習会 「認知症サポーター養成講座」

11月1日（月） 柏原小学校 会議室

講師 高橋 千春先生（愛知県医師会地域包括支援センター） 他1名

DVDやテレビモニターを使って認知症の説明や認知症の方々の現状についての説明がありました。認知症を引き起こす病気は、アルツハイマー病と脳血管障害の二つが圧倒的に多いようです。

また人形劇（パペットを使用した。）では、「老化」と「認知症」との違いの説明がありました。例えば、ふつう私たちは、食事に何を食べたかを忘れてしまっても、食事をしたこと自体を忘れることはありません。しかし、認知症の場合は「食べた」ということ自体の記憶が抜け落ちてしまうそうです。

「年のせい」による健忘症と呼ばれる良性の「物忘れ」は、自然な老化現象なので心配はいらないが、認知症による悪性の「物忘れ」は、初期のうちはあまり区別がつかないのでやっかいであることがわかりました。



講習会 食育講座「秋の味覚いただきます」

11月5日（金） 丸田小学校 家庭科室

講師 森永クッキングサロン



「日本人は深刻なカルシウム不足って知っていますか？」10代の成長期は、骨を貯金する大切な時期だそうです。子どもたちの将来の健康の為に、上手にカルシウムを取りたいですね。効率良くカルシウムを取る為には、乳製品を

魚や野菜と組み合わせて料理したり、日光浴をすると良いそうです。

そんな役立つお話を聞いた後、鮭の蒸し焼き和風ヨーグルトソース、なすとささみのミルク胡麻和え、トマトのレアチーズケーキの3品を作りました。当日は家庭科室一杯の参加者がありましたが、皆さん、さすが主婦！！ 協力し合って手際良く料理をし、おしゃべりを楽しみながらおいしく頂きました。

子どもの学年や学校の枠を超えた母親同士のつながりも出来た講座となりました。



本当に、PTA活動に携わっているいろいろな人と出会い、様々な講演を聞く機会にも恵まれました。どれも子育てに役立つものばかりでした。「ありがとうございました」この感謝の一言につきます。以上活動報告でした。1年間ありがとうございました。